

青野原

【発行】 青野原会
防衛協 衛協 衛協
駐屯地連 駐屯地連
青 青 青
【印刷】 前田精版印刷所

駐屯地司令要望事項
融和団結
地域とともに
群長要望事項
目的を明確に



AONOGAHARA
JGSDF

青野原駐屯地創設49周年記念行事

青野原駐屯地は、令和7年5月25日、「青野原駐屯地創設49周年記念行事」を実施した。記念行事には、国会議員をはじめ各市町長、各防衛協会、各協力団体、青桜会（駐屯地OB会）等が来賓として参加し、駐屯地の創設を祝福した。

記念行事は、観閲式、観閲行進、音楽演奏、格闘展示、訓練展示及び装備品展示を実施したほか、子供広場や自衛隊紹介コーナーが開設され、約2900名の来場者で賑わった。

観閲式では、部隊の厳粛かつ清々とした姿を披露し、観閲行進では基幹部隊である第8高射特科群の03式中距離地对空誘導弾（通称：中SAM）の各装置のほか、多数の車両で威容を示し、観客を魅了した。

訓練展示では、中部方面特科連隊、第37普通科連隊、第3高射特科大隊、第3飛行隊及び第14高射特科隊の支援を受け、協同部隊が不法占拠された地域を奪還する陣地攻撃の一

場面を模擬した戦闘を披露した。

格闘展示では、武器等を携行した敵からの様々な攻撃対処を披露したほか、笑いを誘う隊員紹介のナレーションや観客の意表をつく演出により、歓声と拍手が沸いた。

装備品展示では、中SAMの発射装置と運搬装置、誘導弾搭載の実演が実施されたほか、訓練展示で活躍した職種をはじめ9職種が主要装備品を展示説明し、多くの来場者の興味関心を促進した。

子供広場ではストラックアウトや輪投げ、自衛隊紹介コーナーでは、迷彩化粧や制服の試着等、自衛隊を身近に感じられるブースが開設され、子供連れのご家族で賑わった。

来場者からは、「子供の制服姿もカッコイイ！と喜んでいました。」「来年も楽しみにしています！」など感想が寄せられ、記念行事は盛会裏に幕を閉じた。

青野祭 来年は50周年！



募集広報の日

青野原駐屯地は、令和7年5月24日「募集広報の日」として、募集対象者等88名を招待した。翌日に控えた記念行事の総合予行の見学、隊員食堂での体験喫食、装備品展示と併せた陸上自衛隊の職種説明を行い、職業としての自衛隊の魅力を紹介した。



▲観閲式見学の様子



▲職種説明の様子

駐屯地司令感謝状贈呈

青野原駐屯地は、令和7年5月25日、「感謝状贈呈式」を実施した。

永年にわたり駐屯地の隊務運営や基盤拡充、隊員の士気高揚に貢献いただいた方及び団体（個人7名、1団体）に対し、感謝状を贈呈した。

個人

丹波篠山市防衛協会会長

大上 和則 様

青桜会

細貝 寛徳 様

元キョウワプロテック株式会社

上田 良子 様

カウンセリングルーム「KAZU」

上野 かず子 様

ヒューマンヴァイタルサポート

小林 顕至 様

ヘアースalon ケイズ

福田 章 様

有限会社 芳章

堀田 浩平 様

一般財団法人 防衛弘済会 青野原

団体

日本施設管理株式会社 様

自衛官候補生から自衛官へ ～成長の軌跡～



▲着隊



▲基本教練



▲体力検定 (3,000m走)



▲体力検定 (戦技)



▲ガス体験



▲空包射撃



▲25km行進訓練



▲戦闘訓練



▲修了式の様子



▲成績優秀者の表彰



▲記念撮影の様子

令和7年度

自衛官候補生課程教育修了式

第8高射特科群は、6月下旬、「令和7年度自衛官候補生課程教育修了式」を挙行了した。

式には、加東市副市長をはじめ、各防衛協会会長、兵庫県・近隣地区の家族会会長、隊友会支部長、駐屯地のOB会たる青桜会会長、近隣地区の募集広報事務所長、防衛モニター及び駐屯地モニターが来賓として出席され、自衛官候補生のご家族とともに、課程教育を修了した隊員一人ひとりの門出を温かく祝福した。

式辞において教育隊長（副群長） 鹿倉2佐は、「失敗を恐れず果敢にチャレンジする諸官らの姿を見て心強く感じた。

君たちは様々な課目にチャレンジするうちに、自衛官として必要な資質と、自衛官の基礎となる動作を身につけてきている。前期教育で身につけた資質や基礎動作を基に、後期の特技教育においても積極果敢に取り組んでもらいたい」と述べ、後期教育を迎える自衛官候補生にエールを送った。

教育を乗り越えた自信を身にまとった自衛官候補生は、約3か月と短いながらも逞しく成長した姿をご来賓及びご家族に披露し、自衛官としての第一歩を力強く踏み出して、新隊員特技課程教育に向けての更なる飛躍を誓った。

令和7年度

一般陸曹候補生課程（後期）及び新隊員特技課程教育開始式

第8高射特科群は、7月上旬、「令和7年度一般陸曹候補生課程（後期）及び新隊員特技課程教育開始式」を挙行し、新隊員が式に臨んだ。

式辞において群長 小林1佐は、「目的を理解し果敢に挑め」「同期との絆を大切にせよ」を要望し、「失敗を恐れず果敢に挑んで、同期と共に前向きに教育に励むことで、本教育の目的を達成し、ご家族、地域の方々そして国民の期待と負託に応え得る、立派な陸上自衛官として成長することを期待する。」と述べ、これから教育に励む新隊員へ激励の言葉を送った。

新隊員は、高射特科部隊の発射手又は通信科部隊の搬送通信手として必要な知識・技能を学ぶとともに、同期と切磋琢磨し絆を深める約3か月の教育のスタートを切った。



▲教育開始式の様子



▲教育隊旗授与式の様子

国民スポーツ大会競技別リハーサル大会馬術競技協力

青野原駐屯地は、滋賀県／わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会が主催し、三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）で開催されたわたSHIGA輝く国スポ（第79回国民スポーツ大会）競技別リハーサル大会馬術競技を協力担任した。



▲障害設置の様子



▲馬術競技（リハーサル大会）の様子

協力部隊は、青野原駐屯地所在部隊を主体とし、姫路駐屯地所在部隊及び第3師団隷下部隊の隊員で馬術競技協力隊を編成し、事前準備訓練への参加及びリハーサル大会運営に協力した。

昨年度の佐賀大会に続く協力事業として、今回のリハーサル大会を通じて、国スポ本大会（9月下旬）の円滑な運営に万全を期した。

防衛協会活動状況

三木市・加西市

通常総会

三木市防衛協会は6月4日、加西市防衛協会は6月6日、それぞれ「令和7年度防衛協会総会」を実施した。
総会では、令和6年度事業報告、収支決算報告、令和7年度事業計画案及び収支予算案について審議され、いずれも過半数以上の賛同をもって可決した。

対空機銃レプリカ展示

第二次世界大戦時、日本海軍が姫路海軍航空隊（現在加西市にある鷗野飛行場）の防空のため配備されていた、九六式25ミ2連装対空機銃の実物大のレプリカが、駐屯地厚生施設内に展示された。



▲駐屯地内で展示された対空機銃のレプリカ

レプリカは、防衛協会青野原駐屯地連合会会長 黒田秀一氏が、姫路市在住の梅沢雅房氏に依頼し、当時の図面や写真を参考に作成されたものである。

駐屯地では6月中旬から下旬まで展示され、多くの隊員が見学し、「実際に戦闘があったことを感じ、関心や理解を深めてもらいたい。」という二人の信念と歴史の重みに思いを馳せた。

多可町

部隊研修

多可町防衛協会は、6月19日、海上自衛隊呉地方隊（広島県呉市）の部隊視察研修を実施し、自衛隊の任務・活動に対する理解促進を図った。



▲部隊研修の様子

青桜会活動状況

定期総会

青桜会は4月26日、「令和7年度青桜会総会」を実施した。総会では、令和6年度事業報告、収支決算報告、令和7年度事業計画案及び収支予算案について審議され、いずれも過半数以上の賛同をもって可決した。

25km行進訓練 激励！

青桜会は、6月5日、「令和7年度自衛官候補生課程25km行進訓練」を激励した。

当日は、青桜会副会長、事務局長等が来隊し、行進経路上の各地点において、炎天下の中歩みを進める自衛官候補生一人ひとりに声を掛け、その背中を後押しした。

青桜会は駐屯地OB会として、様々な機会を通じ、駐屯地の更なる発展及び活躍のため支援協力を行っていく。



▲青桜会激励の様子

家族会も自候生を応援！

「令和7年度自衛官候補生課程25km行進訓練」には、兵庫県自衛隊家族会、東播南西地区自衛隊家族会及び三木市自衛隊協力会父兄会も応援に駆け付け、自衛官候補生を拍手と声援で元気づけた。



▲自衛隊家族会激励の様子

トライやるウィーク

（職業体験）支援

青野原駐屯地は、5月下旬から6月下旬にかけて、6市1町の中学校に対し、「トライやるウィーク（職業体験）」を支援した。
参加した中学生は、訓練の見学、天幕設営、救急法、徒步行進、隊員食堂での昼食の体験を通じ、陸上自衛隊の任務や役割等について理解を深めた。

小野市の中学校（担任：338高中）



▲天幕設営体験の様子



▲隊員食堂で昼食の様子

6市1町の中学校（担任：343高中）



▲徒步行進の体験の様子



▲救急法の体験の様子

米海兵隊 岩国航空基地 フレンドシップデー2025支援



5月初旬、米海兵隊岩国航空基地において、第8高射特科群第340高射中隊が中SAMの展示支援を行い、日米相互の親睦強化を図るとともに陸上自衛隊に対する親近感を醸成した。

